

秋銀あきた未来塾閉講式を支援

2026年7月24日、アーセプトコンサルティング(株)の長谷部光哉会長と長谷川晃取締役は、秋田銀行主催のあきた未来塾第13期生の閉講式に参加し、芦田晃輔頭取を始めとする同行役職員とともに塾生の卒業プレゼンテーションを傍聴しました。

10名の塾生からは、約20分ずつ、現時点での自社の経営環境分析、X年後の経営環境の予測を踏まえた既存事業戦略の見直しや進化、新規事業戦略のロードマップが発表されました。閉講式には、塾生OB・OGの他塾生の所属する企業から、現経営者の方々も陪席し、プレゼンテーションに対する活発な質疑応答がなされました。

塾長である関満博先生（博士（経済学）、一橋大学名誉教授、関塾主宰）からは、「（これで13期、約140名の塾生が卒業することになるが、）年々塾生のレベルが向上している」との温かいコメントが寄せられました。今後、卒業生は、自社における経営戦略のブラッシュアップ作業を経て、X年後にむけ、力強く歩を進めることになります。

例年同様、アーセプトコンサルティング(株)は、当日に向けた戦略策定講座の講師の他、プレゼンテーションスライドの最終チェックや個別WEB指導を行い、閉講式を支援致しました。未来塾をきっかけに、若手経営者が厳しい経営環境を乗り越え、戦略商品のレベルをさらに高め、県内シェア向上だけでなく、広く全国、海外市場を開拓することを祈念しております。



☆閉講式の様子（於 秋田市中通「イヤタカ」）